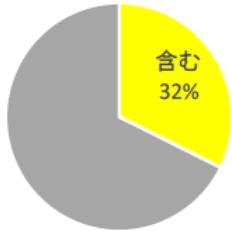
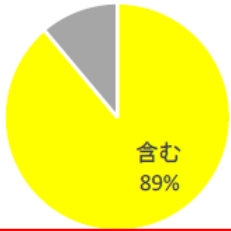
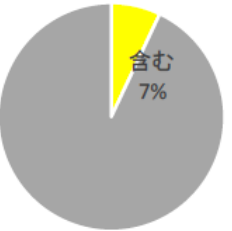
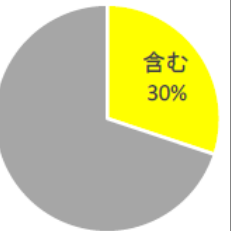
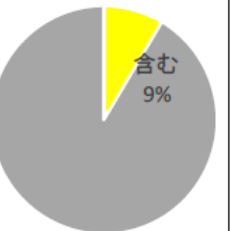

浸水想定区域と居住誘導区域の重複、 居住誘導区域外の集落について

居住誘導区域にハザードエリアを含む都市

- 災害レッドゾーン(土砂災害特別警戒区域等)は、居住誘導区域からの除外が基本であるが、災害イエローゾーン(浸水想定区域等)については、多くの都市において居住誘導区域に含めている。
- 特に、浸水想定区域については、浸水深に応じて居住誘導区域から除外するなどの対応をとっている都市もあるものの、居住誘導区域に含めている都市がほとんどである。

■居住誘導区域に災害イエローゾーンを含む都市

区域	土砂災害警戒区域	浸水想定区域	都市洪水・都市浸水想定区域	津波浸水想定区域	津波災害警戒区域	総数
居住誘導区域に含む都市数	87都市	239都市	19都市	81都市	23都市	247都市 (複数の区域を含む都市あり)
						
						14

R1.7月末時点

出典:「防災性向上に向けたまちづくりの取り組み状況について」国土交通省

- 浸水区域については、全ての自治体が居住誘導区域に含めている。
- ただし、「計画規模で3m以上の浸水が想定される区域」や「家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食）」は、居住誘導区域に含めていない自治体もある。

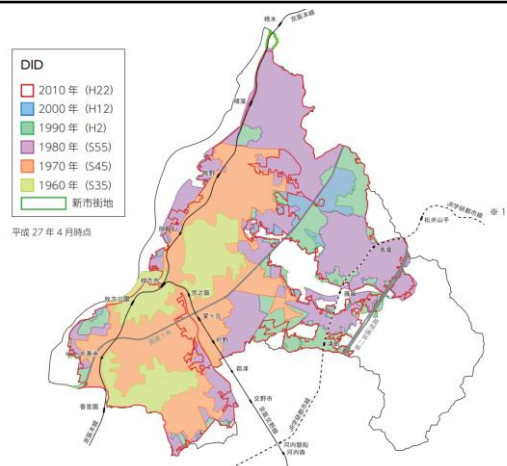
■ 淀川沿岸周辺市町のハザードエリアの扱い

	居住誘導区域に含めない区域					原則として、含めない区域	適当でないと判断される場合は、含めない区域		備考
	災害危険区域のうち、住宅が禁止されている区域	地すべり防止区域	急傾斜地崩壊危険区域	土砂災害特別警戒区域	災害危険区域（左記の区域を除く）	土砂災害警戒区域	浸水想定区域		
大阪府	高槻市	×	—	×	×	—	×	○※1	※1：計画規模で3m以上の浸水が想定される区域は、居住誘導区域に含めない
	枚方市	×	—	×	×	×	×	○※2	※2：計画規模で3m以上の浸水が想定される区域は、居住誘導区域に含めない。また、家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食）は、居住誘導区域に含めない。
	寝屋川市	—	—	—	×	—	×	○	
	守口市	—	—	—	—	—	—	○	
京都府	長岡京市	—	—	—	—	—	×	○※3	※3：家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食）は、居住誘導区域に含めない。
	八幡市	—	—	×	×	—	○	○	

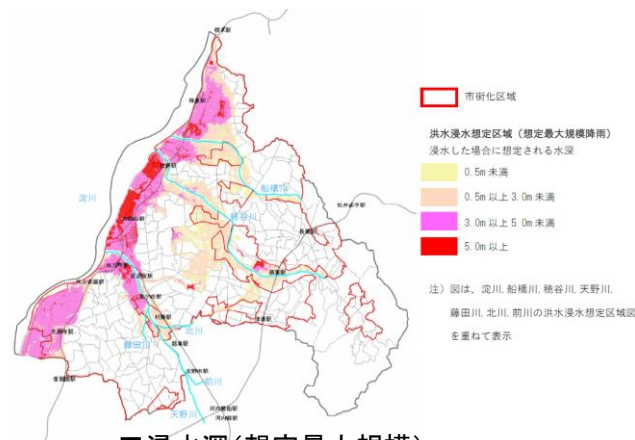
<凡例>

- ：対象区域が指定されていない自治体
- ×
- ：対象区域を居住誘導区域に含めている自治体

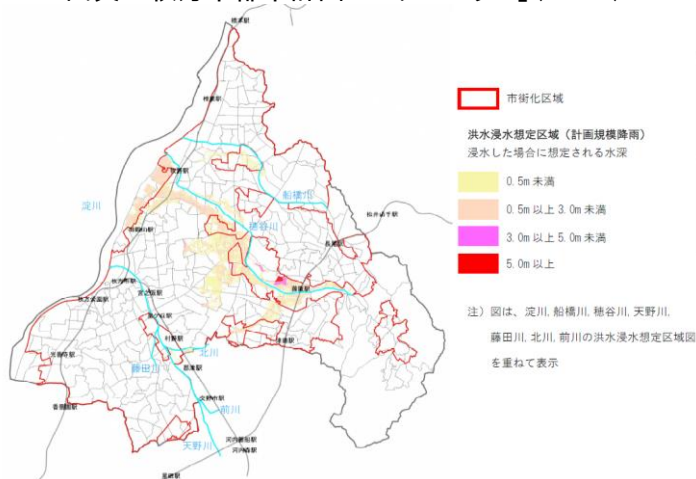
- 枚方市は鉄道沿線を中心に市街化が進んでおり、その一部は浸水想定区域に指定されている。
- 居住誘導区域から浸水想定区域は省かないものの、浸水深3m以上(計画規模)、家屋倒壊等氾濫想定(河岸浸食 想定最大規模)は、区域から省いている。



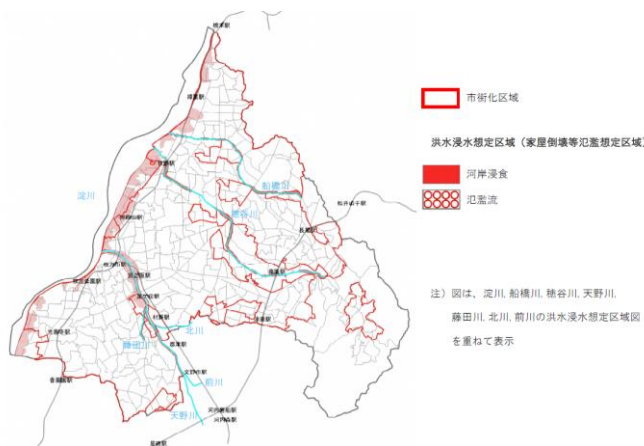
■ DIDの変遷
出典:「枚方市都市計画マスタープラン」(H29.3)



■ 浸水深(想定最大規模)
出典:「枚方市立地適正化計画」(H29.3)



■ 浸水深(計画規模)
出典:「枚方市立地適正化計画」(H29.3)

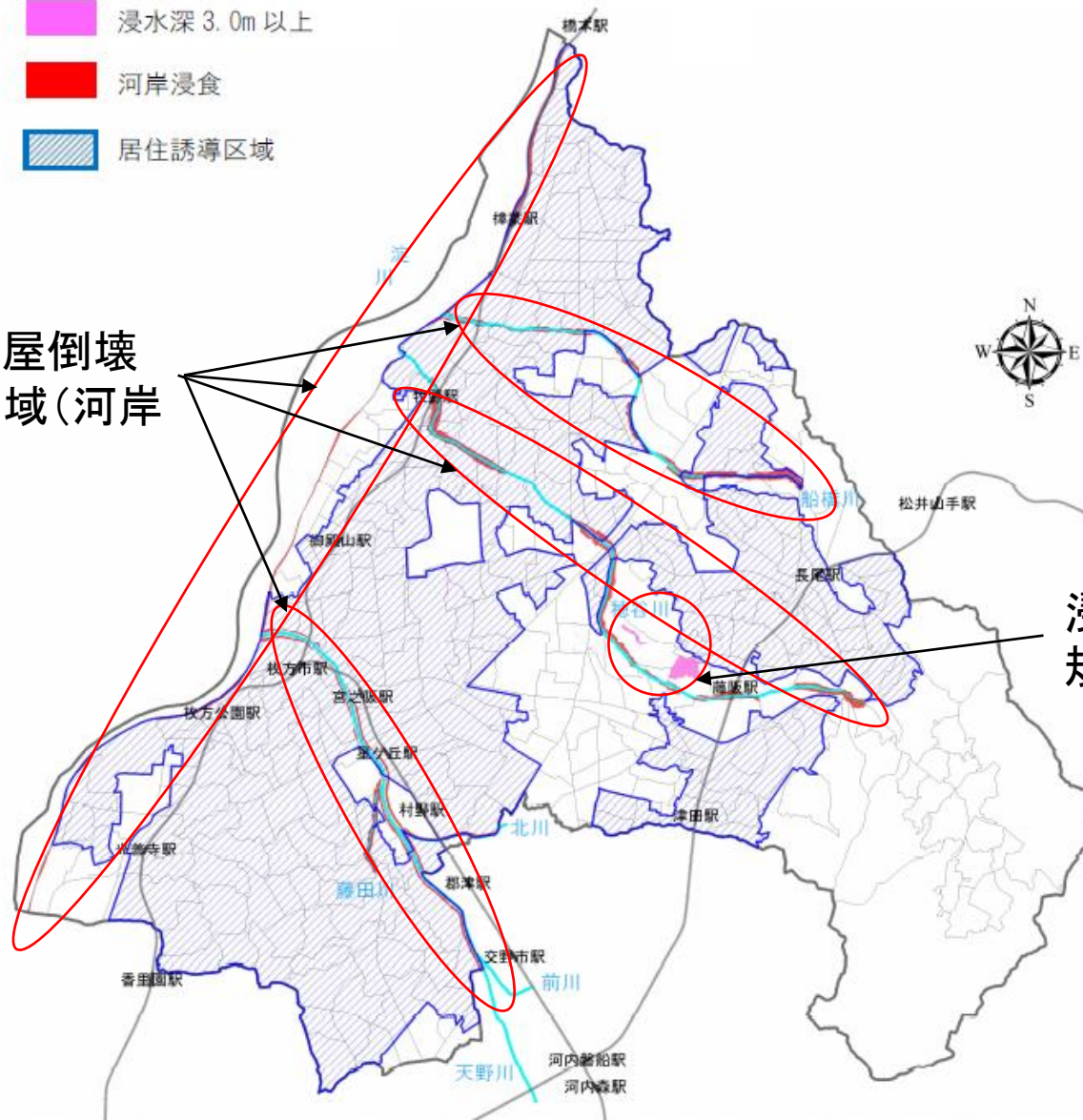


■ 家屋倒壊等氾濫想定区域
出典:「枚方市立地適正化計画」(H29.3)

[凡例]

- 浸水深 3.0m 以上
- 河岸浸食
- 居住誘導区域

河川沿いの家屋倒壊
等氾濫想定区域(河岸
浸食)を省く



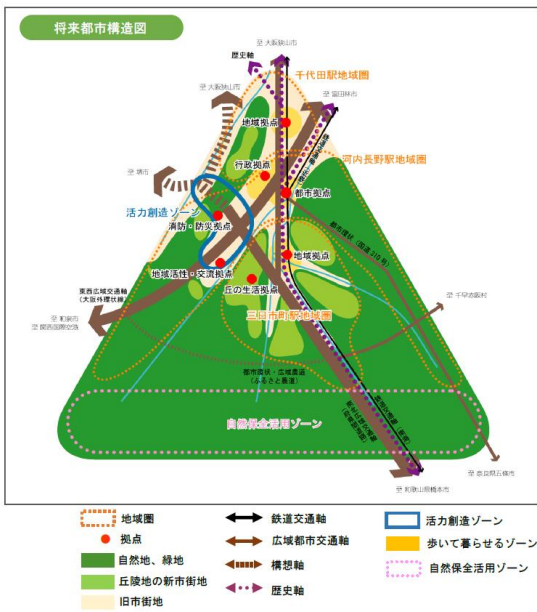
浸水深3m以上(計画
規模)を省く

■ 浸水深(計画規模)

出典:「枚方市立地適正化計画」(H29.3)

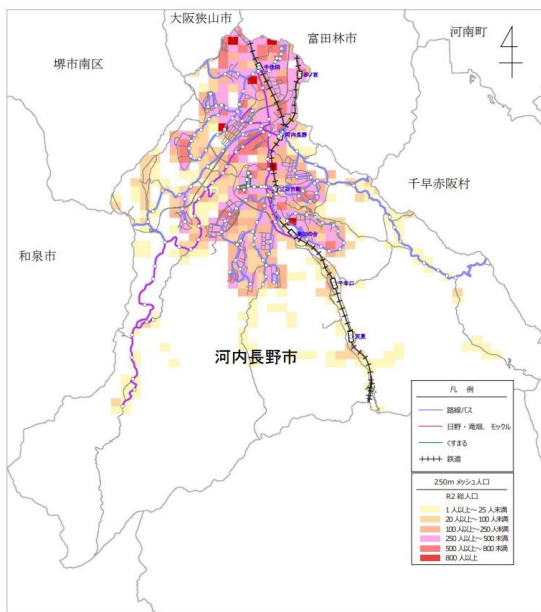
(事例) 河内長野市の場合

- 河内長野市は、河内長野駅等を中心とした中心市街地と、小さな集落が点在する山林地域にから構成される。
- 人口、都市施設や交通施設は中心市街地に集積する。
- 市街化区域や居住誘導区域は、中心市街地を中心に設定されているが、居住誘導区域等以外の山間集落も維持することを方針として掲げ、各種施策が設定されている。



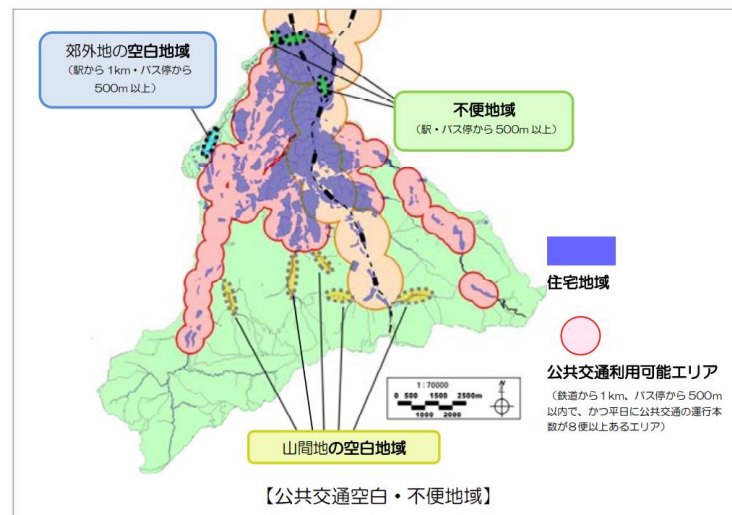
■将来都市構造図

出典:「河内長野市都市計画マスタープラン」(2023改訂)



■人口分布(R2国勢調査)

出典:「河内長野市地域公共交通計画」(R5.2)



■公共交通空白・不便地域

出典:「第2期 河内長野市地域公共交通総合連携計画」(H24.11)

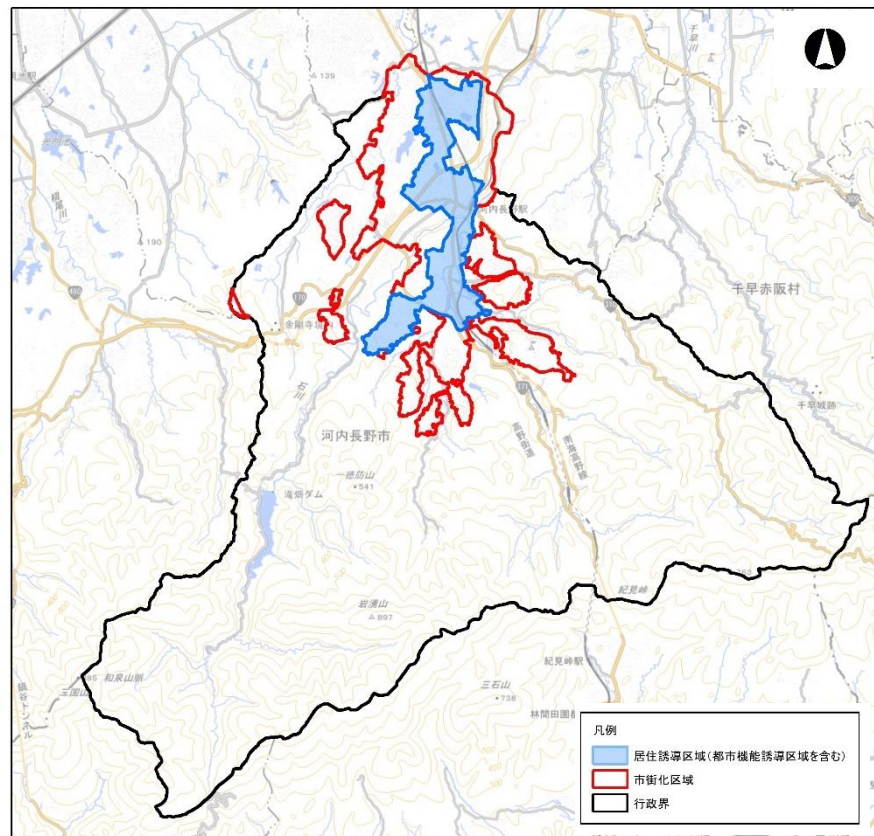
■立地適正化計画の方向性

豊かな自然・歴史を感じながら、
安心して快適に暮らし続けられるまち

- ① 多様な都市機能を集約した、利便性の高い魅力ある拠点の形成
- ② 拠点を中心とした、歩いて暮らせる良質な居住地の形成
- ③ 地域の実情に応じた持続可能な公共交通ネットワークの確立
- ④ 人とふれあい、自然や歴史を実感できる心豊かな暮らしの維持

* 方針④に以下の事項が示されている。

- ・ 市街化調整区域についても、これまでの暮らしが維持できるよう、農林業や観光の振興、移住や交流の促進により地域コミュニティの維持を図るとともに、農地などの自然的土地利用と調和した土地利用を目指します。

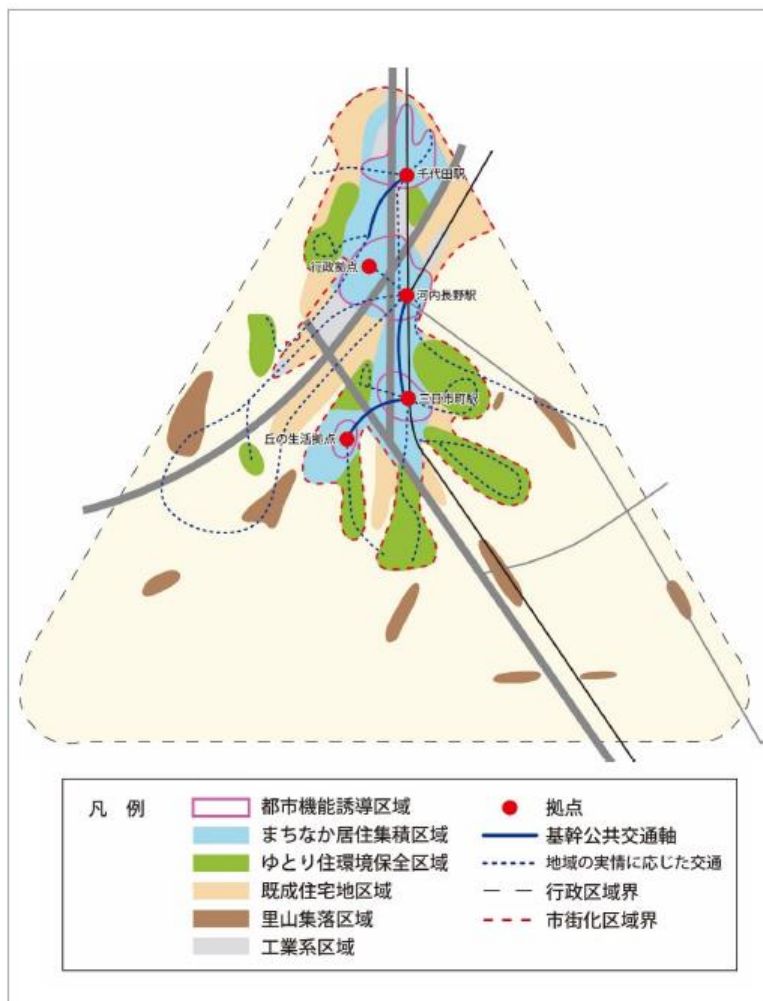


■市街化区域と居住誘導区域誘導区域

出典：国土数値情報より作成

■ 里山集落区域の施策

■：具体施策の例



■ 区域設定のイメージ

出典：「河内長野市立地適正化計画」(2019)

施策	内容
● 自然的土地利用の保全	
農空間の保全	安定した農業経営に欠かせない基盤整備や営農支援などにより、貴重な地域資源である農空間の保全に取り組みます。 ■ 遊休農地、耕作放棄地の活用支援、農林業施設の改善
農林業の振興	地域の経済を支える農林業の振興に向けた取り組みを進めます。 ■ 新規就農支援（農地取得支援、情報提供）、農林業経営支援、特産品認証制度（おおさか河内材）等
里山景観の保全	山林や農地と古民家、社、堂が調和した里山集落の景観を河内長野市らしい原風景として保全を促します。 ■ 勉強会・講演会の開催、ワークショップ等
地域資源を活かした観光振興	地域資源を活かすため、観光魅力の効果的な発信や、観光振興に向けた仕組みづくりに取り組みます。 ■ シティプロモーションの継続、多言語対応の強化、SNSの活用 観光関連事業者の創業支援等
● 地域コミュニティの維持	
集落コミュニティの維持	地域のつながりを活かし、集落コミュニティの活力維持に向けた地域活動の支援を行います。
地域の伝統文化の継承	地域の伝統や祭りを盛り上げるため、歴史文化遺産の保存・活用、担い手育成の支援等に取り組みます。
空き家の活用・対策	古民家等の空き家の活用について、移住定住促進施策と連携した活用方を検討します。 ■ 空き家バンク制度の活用等
移住・定住の促進	地域の魅力発信や相談窓口の設置、各種補助制度などにより、移住定住の促進を図ります。 ■ リーフレットの作成等
集落維持のための交流促進	高齢化や担い手不足を支えるために、ボランティアによる都市農村交流を促進します。 ■ 都市農村交流事業（援農ボランティア）等
ふるさと農道の活用	ふるさと農道の開通による地域間交流の促進、利便性の向上を図ります。

出典：「河内長野市立地適正化計画」(2019)